

奈良県の地震

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

【奈良県地震概況】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

【地震一口メモ】

緊急地震速報の訓練（シェイクアウト訓練）について

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため 1989 年 1 月より月 1 回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

奈良地方気象台
2024 年 5 月

本誌の過去分は奈良地方気象台ホームページでご覧いただけます。
URL : <https://www.data.jma.go.jp/nara/jisin/jisin.html>

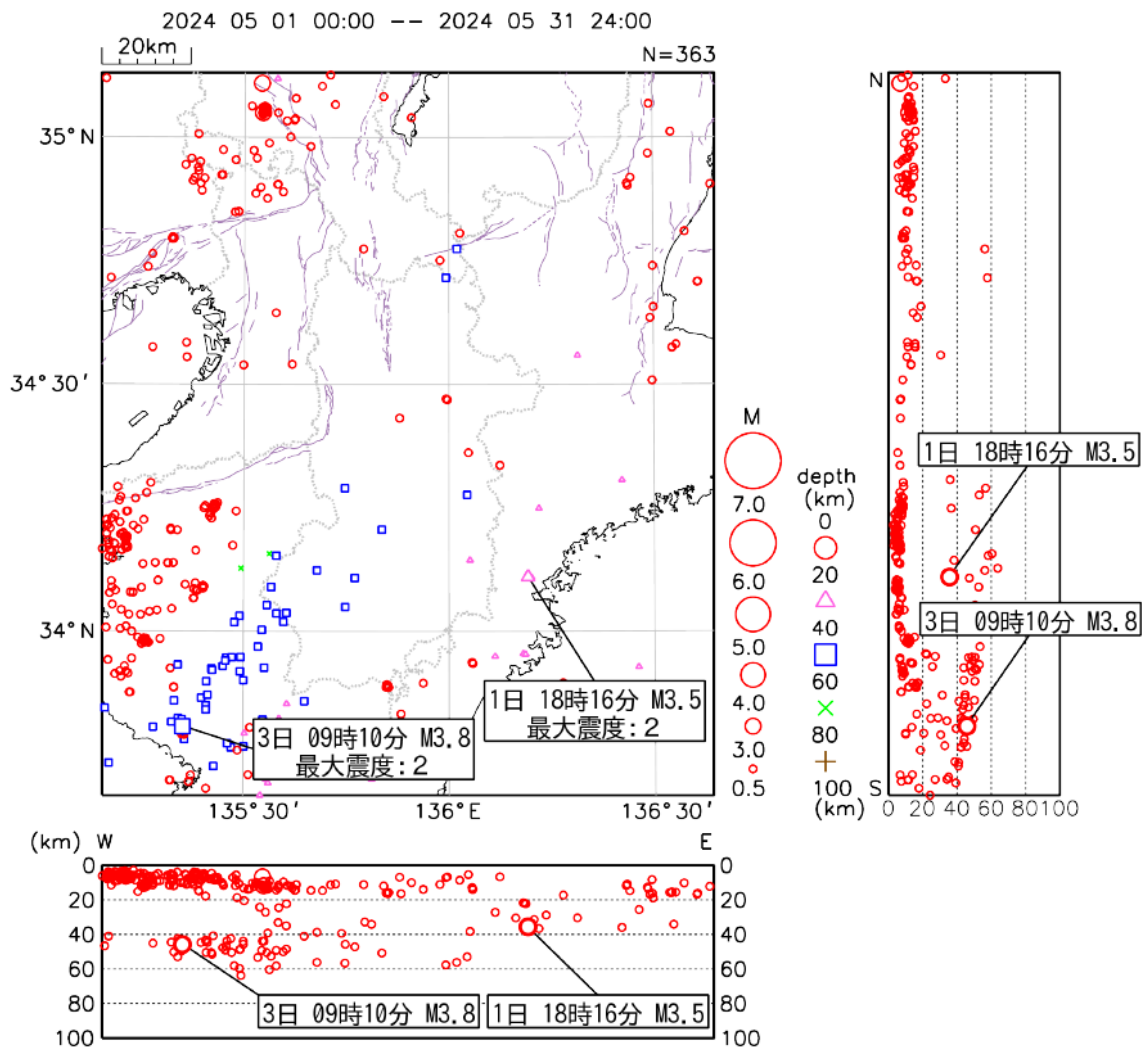


【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

震央分布図（左上）は、地震が発生した場所を地図上に表し、記号の大きさと地震の規模（マグニチュード、Mとも表記）と記号の種類で震源の深さを表しています。また、紫色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を表しています。南北方向の断面図（右上）と、東西方向の断面図（左下）で地震の垂直分布を表し、これらにより地震の発生状況と規模が把握しやすくなります。

図中の吹き出しは、奈良県内で震度1以上を観測した地震を示しており、地震の発生日時や規模などを記載しています。なお、最大震度は奈良県内とは限りません。



【奈良県地震概況】

1日18時16分 三重県南部の地震（最大震度2、深さ36km、M3.5）により、奈良県内では山添村、黒滝村、宇陀市で震度1を観測しました。

3日09時10分 和歌山県北部の地震（最大震度2、深さ46km、M3.8）により、奈良県内では桜井市、明日香村、吉野町、天川村、十津川村で震度1を観測しました。

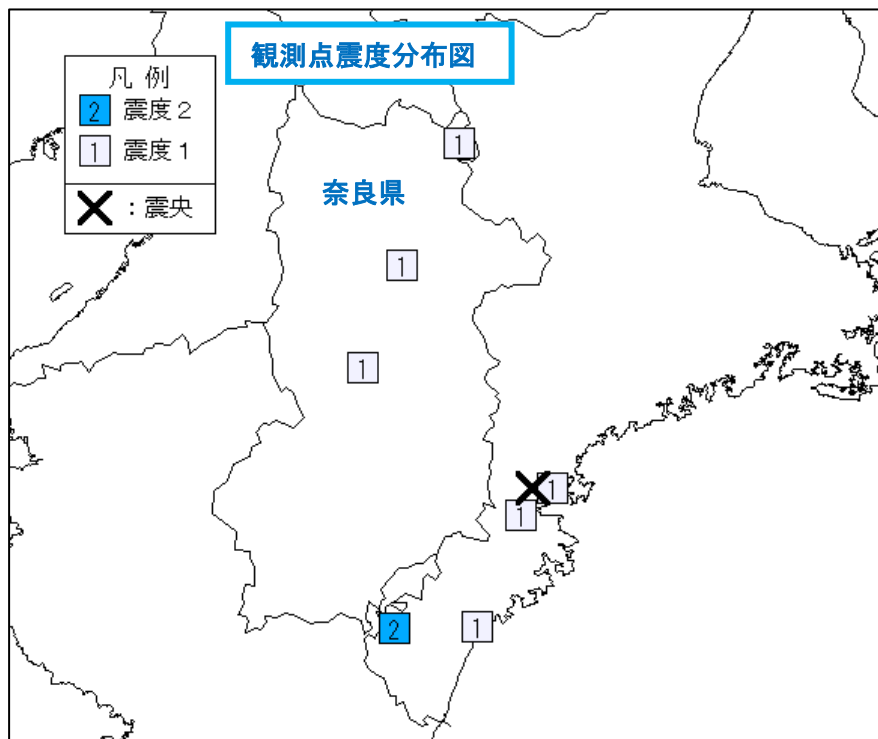
【奈良県で震度1以上を観測した地震の一覧】

震源時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	M
各地の震度（奈良県内のみ記載）					
2024年05月01日18時16分	三重県南部	34° 06.6' N	136° 11.5' E	36km	M3.5
震度 1：山添村大西＊, 黒滝村寺戸＊, 宇陀市大宇陀迫間＊					
2024年05月03日09時10分	和歌山県北部	33° 48.4' N	135° 21.1' E	46km	M3.8
震度 1：桜井市初瀬, 明日香村橘＊, 吉野町上市＊, 天川村洞川, 十津川村小原＊					

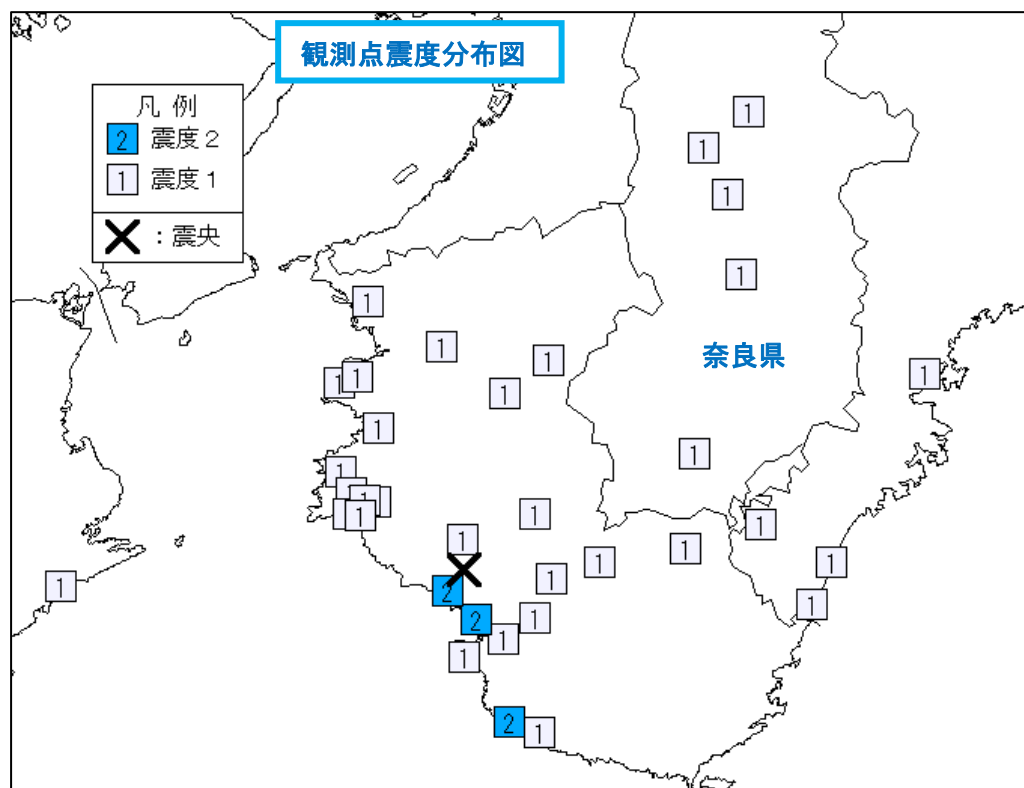
＊印は地方公共団体等の震度観測点です。

【奈良県で震度1以上を観測した地震の震度分布図】

2024年05月01日18時16分	三重県南部	34° 06.6' N	136° 11.5' E	36km	M3.5
-------------------	-------	-------------	--------------	------	------



2024 年 05 月 03 日 09 時 10 分 和歌山県北部 33° 48.4' N 135° 21.1' E 46km M3.8

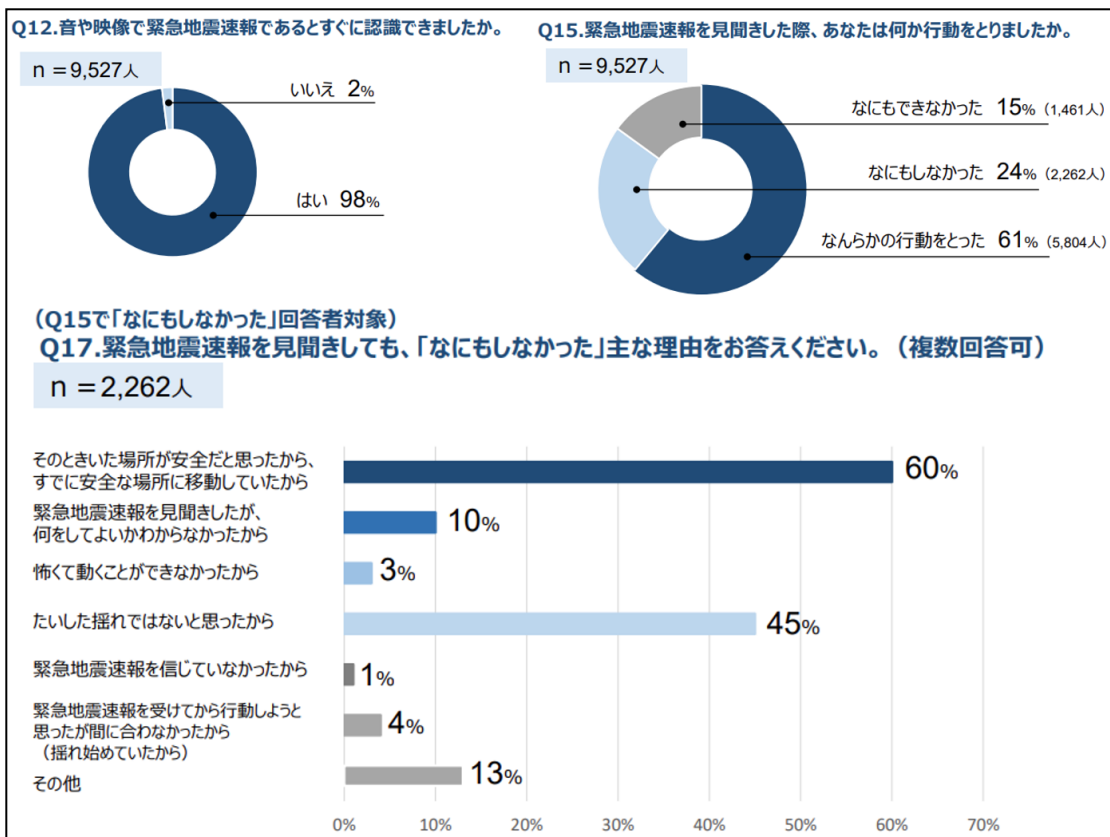


【地震一口メモ】

～緊急地震速報の訓練（シェイクアウト訓練）について～

令和6年能登半島地震（1月1日16時10分 石川県能登地方の地震）では、奈良県へも約5年ぶりに緊急地震速報が発表され県内でも震度4を観測しました。気象庁は、この地震の緊急地震速報を見聞きした際の行動や意識の違いについてWeb調査を行い、調査結果（速報版）を公表しています。

この調査結果によると、当時、緊急地震速報を見聞きした人の98%の方が音や映像から緊急地震速報が発表されたことをすぐに認識していました。しかしながら、15%の方が「何もできなかった」、24%の方が「何もしなかった」と回答しており、「何もしなかった」人のうち10%の方が「緊急地震速報を見聞きしたが、何をしてもよいかわからなかった」と回答しています。



緊急地震速報の利活用の予備調査の回答（一部抜粋）

緊急地震速報の利活用の予備調査は、以下の URL か二次元コードからアクセスすることができます。

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/shiryo/pre-survey/pre-survey.html#survey>



緊急地震速報を見聞きした際や、突然、強い揺れを感じた時は、周囲の状況に応じて、あわてずに適切に身を守る行動（安全確保行動）を行う必要があります、平時から防災訓練などで繰り返し練習しておく必要があります。



3つの安全確保行動（提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議）

奈良県では、毎年7月に地震から「いのち」を守り、生きぬくための行動訓練として、ナラ・シェイクアウト訓練を開催しています。この取組みに個人で参加したり、この取組みに参加している団体が各会場で実施する訓練へ参加したりするなど、安全確保行動の訓練を行ってください。また、この機会に家具の固定や備蓄品の点検などの地震への備えも確認するようにしてください。

奈良県 令和6年度ナラ・シェイクアウト訓練（奈良県いっせい地震行動訓練）

実施日時：令和6年7月9日（火）午前10時30分

詳細：以下のURLや右の二次元コードからアクセスしてください

<https://www.pref.nara.jp/item/120899.htm>

